

4 全体と乳がん体験者 悩みや負担の比較：症状・副作用・後遺症

この章の要点

- 2003年の第一次調査と比べて、第二次調査では、薬物療法に関する悩みや負担の割合が顕著に増加しており、乳がんの場合は、ほぼ倍となり、「症状・副作用・後遺症」に関する悩みや負担の6割を占めている。(p.26)
- 乳がんの「症状・副作用・後遺症」の変化の具体的内容を細分類項目による上位10位で見ると、第一次調査では上位の半分は手術に関連した症状や障害であったが、今回の調査では、2項目になっている。(p.28)
- 上位にあがっている薬物療法の副作用症状の特徴として、治療終了後も長期化する症状(末梢神経障害によるしびれや脱毛など)や日常生活に影響がある症状、外見の変化をきたす症状などがあげられる。(p.29-p.31)

(1) 「症状・副作用・後遺症」の悩みや負担の変化

今回の調査で、4つの柱のうちの一つである「身体の苦痛」(大分類「症状・副作用・後遺症」)は、第一次調査に比べ増加していた。そこで、「身体の苦痛」の実態を詳細にみていくために、具体的内容が項目名になっている細分類 183 項目 (細分類の分類項目数) ごとの件数を整理し、第一次調査結果と比較した。

全体を通じての大きな変化は、薬物療法に関する悩みや負担の割合が顕著に増加したことである。主要5大がんでは、特に、大腸がん、肺がん、乳がん、胃がんでの薬物療法に関連した悩みや負担が増加している。

図 4-1 「症状・副作用・後遺症」の薬物療法に関連した悩みや負担

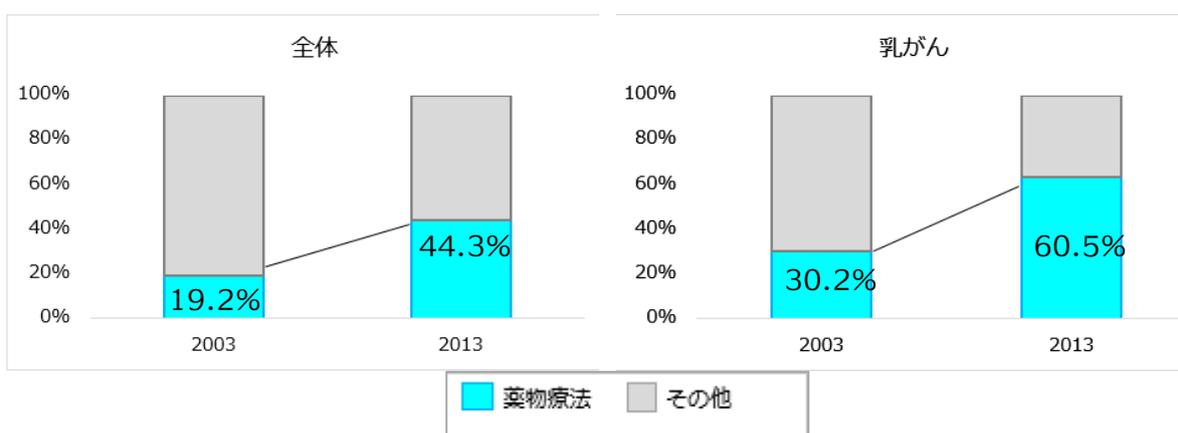


表 4-1 主ながん種別 「症状・副作用・後遺症」の薬物療法に関連した悩みや負担

		乳がん	大腸・直腸がん	肺がん	胃がん	子宮がん	全体
		2003	薬物療法 件数 (%)	281 (30.2%)	58 (11.2%)	51 (22.9%)	46 (7.2%)
	全体件数	929	516	223	639	356	3,915
2013	薬物療法 件数 (%)	467 (60.5%)	131 (52.2%)	70 (59.3%)	68 (26.6%)	26 (8.8%)	967 (44.3%)
	全体件数	772	251	118	256	294	2,182

注) 表の数字の説明

◎薬物療法件数(%): 「症状・副作用・後遺症」のうち、小分類「抗がん剤による副作用の症状」、「抗がん剤の副作用の持続」の2つの小分類に分類された悩みや負担の件数。なおホルモン療法に関連する小分類項目は、手術と薬物療法どちらの症状か判断しにくい事例もあるため、今回は、件数には加えていない。

◎全体件数: がん種別の大分類「症状・副作用・後遺症」に分類された悩みや負担の件数

(2)全体の「症状・副作用・機能障害」の変化：上位 10 位

「症状・副作用・後遺症」に関して、細分類（具体的な悩みのラベルがついている）183 項目（細分類の分類項目）ごとの件数を整理し、全体と乳がんで上位 10 位までを表にまとめた。項目名の最後に（その他）とあるのは、漠然とした記述、他のどの細分類項目にもあてはまらない内容などをまとめた分類項目である。

2003 年の調査時に比べ、全体的に、薬物療法（殺細胞性抗がん剤、ホルモン剤、分子標的治療薬による治療）の副作用症状に関連した項目が増加している。特に、[末梢神経障害]は 19 位→3 位、[外見の変化（爪、皮膚障害）による症状]29 位→11 位と件数増加が顕著である。なお、今回の調査の第 1 位が「抗がん剤による副作用症状(その他)」になっているのは、分子標的薬や他新薬の登場で 2003 年の分類ラベルにはなかった症状が生じてきていることも影響している。

表 4-2 “症状・副作用・後遺症” 細分類別 上位 10 位

背景の色の説明		薬物療法に関連した症状など		放射線療法に関連した症状など
		手術に関連した症状や後遺症など		治療後の生活行動
		その他の症状やその影響（原因が特定できない記述を含む）		

順位	2003 年	順位	2013 年
1	抗がん剤による脱毛	1	抗がん剤による副作用症状(その他)
2	抗がん剤による副作用症状(その他)	2	抗がん剤による脱毛
3	持続する術後後遺症（痛み・肩こり）	3	抗がん剤による末梢神経障害（しびれ、違和感等）
4	リンパ浮腫によるむくみ	4	治療後の体力低下・体力回復
5	持続する術後後遺症(その他)	5	リンパ浮腫による症状(その他)
6	薬物療法による吐き気	6	持続する術後後遺症(その他)
7	治療後の体力低下・体力回復	7	抗がん剤による副作用の持続(その他)
8	ホルモン剤治療による更年期症状	8	抗がん剤による食欲不振や味覚変化
9	(持続する症状) 痛み	9	持続する傷跡とその周辺の痛み、しびれ、つっぱり感等
10	罹患前の状態に戻れるか	10	今後の健康管理

(2) 乳がん体験者の「症状・副作用・機能障害」の変化：上位 10 位とその事例

a) 第一次調査と第二次調査結果の比較

全体の傾向と似ているが、より顕著に薬物療法の多様な副作用症状が上位にあがっている。その多くは、治療終了後も長期化する症状(末梢神経障害によるしびれや脱毛など)、日常生活にも影響がある症状等である。

表 4-3 乳がん体験者の「症状・副作用・後遺症」 細分類別 上位 10 位

背景の色の説明		薬物療法に関連した症状など		放射線療法に関連した症状など
		手術に関連した症状や後遺症など		治療後の生活行動
		その他の症状やその影響（原因が特定できない記述を含む）		

順位	2003 年	順位	2013 年
1	抗がん剤による脱毛	1	抗がん剤による脱毛
2	抗がん剤による副作用症状(その他)	2	抗がん剤による副作用症状(その他)
3	持続する傷痕とその周辺の痛み、しびれ、つっぱり感など	3	抗がん剤による末梢神経障害(しびれ、違和感等)
4	リンパ浮腫によるむくみ	4	抗がん剤による副作用の持続(その他)
5	持続する術後後遺症(その他)	5	持続する傷痕とその周辺の痛み、しびれ、つっぱり感など
6	抗がん剤による吐き気	6	リンパ浮腫による症状(その他)
7	治療後の体力低下・体力回復	7	抗がん剤の副作用症状の長期化
8	ホルモン療法や手術による更年期症状	7	抗がん剤の副作用による日常生活への影響
9	(持続する症状) 痛み	7	ホルモン療法等による副作用(その他)
10	罹患前の状態に戻れるか	10	抗がん剤による外見の変化(爪が黒くなる、皮膚症状など)

b) 細分類別事例：上位 10 位

表 4-4 乳がん体験者の「症状・副作用・後遺症」 細分類別事例（上位 10 位）

1	抗がん剤による脱毛
	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 抗がん剤の副作用で髪が抜けるつらさ、頭では理解できて心がついていかない。 ❖ 抗がん剤による脱毛がとても嫌だった。かつらをつけての就労にも悩んだ。 ❖ 抗がん剤の治療期間が辛かった。頭髪の状況とにらめっこの頃は落ち込んだ。 ❖ 抗がん剤治療の後遺症などはほとんどなく、食事もふつうにできたが、髪が抜けてウィッグを付けなければならないときはとてもつらく、悲しい時間だった。人目を気にして家から出たくなかった。長い黒髪がつるつるになってしまうのは女性としてつらかった。 ❖ 髪が抜け、生えてきているが以前と髪の質が違う。髪がまだ短い伸びかけの状態の仕事をしている。
2	抗がん剤による副作用症状（その他）
	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 週 1 回の抗がん剤の点滴治療中は、胃痛、体重減少、体力低下などがあり、副作用が不安だった。 ❖ 抗がん剤治療はとてもつらかった。顔はどす黒く、指はしびれ、血管痛になり、嫌になった。 ❖ 手足のしびれ、関節痛、筋肉痛などがあり痛み止めや漢方薬を服用しているがあまり効果がない。 ❖ 3 度目の再発で抗がん剤治療中。体がだるく、つらい毎日だが、よくなることを信じがんばりたいと思う。 ❖ 抗がん剤の副作用で、むくみで体重が増加し、特に顔の変貌により人に会うことができずひきこもり状態になる。
3	抗がん剤による末梢神経障害（しびれ、違和感等）
	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 手、足の指がしびれ、物を落すことがよくあり、どうしようと思った。 ❖ 現在も足の裏に違和感が残っている。徐々によくなっていて生活に支障はないが、早くなくなってほしい。 ❖ 足の裏がしびれているので歩きにくい感じがあり、たびたび足の指がつるようになった。 ❖ 抗がん剤の副作用で足の裏にしびれが残り、お風呂に入っているときと寝ているときが一番じんじんする。 ❖ 足裏の感覚が、いつも指先の方が砂浜を歩いている感じで力が入らず、フラフラしてしまう。指（手）も前のようなかなか戻らず、布との摩擦が痛くて、爪も割れて深爪になってしまった。これも痛い。

4	抗がん剤による副作用の持続（その他）
<ul style="list-style-type: none"> ❖ 抗がん剤治療での脱毛で、6年経った今もウィッグを着ける毎日。仕事柄ヘアスタイルはとても重要なのに、こんなに元に戻らないものかと悩んでいる。 ❖ 抗がん剤治療が回数を重ねるごとに副作用が強くなり、この副作用からいつ抜け出せるのか悩んだ。1回ごとが不安だった。 ❖ 抗がん剤治療の副作用による髪や体の不調などさまざまあり、この薬で自分の体はどうか、不安ばかりだった。 ❖ 抗がん剤や放射線の治療でつらい思いをした。食欲もなく夕方近くになると自然と涙が出る毎日だった。 ❖ 抗がん剤治療の頃、普段はすごく元気なのに治療の度に副作用で具合が悪くなるので、なぜこんな治療しなくてはいけないのかと悩んだ。 	
5	持続する傷跡とその周辺の痛み、しびれ、つっぱり感等
<ul style="list-style-type: none"> ❖ 手術後、体に板を張りつけたようになりひどい痛みが長期間続いてつらかった。 ❖ 手術後、皮膚がつっぱり、リンパが膨れときどき傷が痛む。 ❖ 手術の跡がしばらくピリピリした感じだったが、1ヶ月後通院したとき、「今はそうかもしれないが後で乳房を残してよかったと思いますよ」と言われ安心した。 ❖ 手術痕の痛み、痛みに対する不安が続いている。 ❖ 手術から3ヶ月経つが、いまだ傷の感じは変わっていないような気がする。確かに最初に比べれば痛さはやわらいでいるものの、健康なときとはあきらかに違う。 	
6	リンパ浮腫による症状（その他）
<ul style="list-style-type: none"> ❖ 腋のリンパ節を切除しているので、リンパ浮腫の予防は一生しなければならないのかと思うとうんざりする。 ❖ リンパ浮腫が続いておりつらい。ときどき流してもらおうと楽になるが保険がきかない。指先から上腕までグローブと上腕サポーターを朝から夕方までつけている。リンパは流し方を習い、毎夜自分で流している。 ❖ 治療終了の約1年後にリンパ浮腫を発症したので、その症状について心配した。 ❖ リンパ浮腫。症状は軽くなったが、重い物は持てないし無理をすると悪化する。生活にも気をつけなければいけない。 ❖ 手術のリンパ節切除により6ヶ月後にリンパ浮腫になり悩んだ。現在リンパ浮腫外来に通院している。 	

7	抗がん剤の副作用症状の長期化
	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 使用中の抗がん剤の副作用による、しびれや痛みはどこまでがまんすればよいのか。効果のある抗がん剤を中断したくないが、いつまで効果が続くのかも不安。 ❖ 副作用が消えない。 ❖ 抗がん剤の副作用で動悸、手足のしびれ、物忘れ、頭髪の脱毛（5年経過後も前頭部分は脱毛している）、関節の痛み、うつ状態などがある。 ❖ 手足のしびれが一生続くのであろうかと思うと悩み。
7	抗がん剤の副作用による日常生活への影響
	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 抗がん剤の副作用で手と足のしびれがひどく、日常生活も困難だった。 ❖ 現在飲んでいるホルモンの薬の副作用か、指や肩の関節が痛く、着替えやふたを開けるなどの日常の動作が困難。このままだとさらに手が上がらないなどの状況になりそうだが、どうすればよいかわからなくて困っている。 ❖ 抗がん剤治療中はほとんど家事もできず、寝たり起きたりで身体がきつかった。 ❖ 治療が長期化しいろいろと副作用があり、特に子育てや家事で不便なことが多く気が滅入る。 ❖ 抗がん剤治療中は体力が落ち、外出先でもすぐに疲れて座りたくなった。
7	ホルモン療法等による副作用（その他）
	<ul style="list-style-type: none"> ❖ ホルモン剤を服用しているが、重症ではないものの副作用が少なからずある。最低 5年、できれば 10年飲み続けるよう提案されているが、ホットフラッシュや食事制限をしないと太ることから、この先長期間薬を飲み続けるのかと思うと気分が落ち込む。 ❖ ホルモン療法の副作用と年齢的なことが重なり、いろいろな不調が出てきた。あちこちの診療科に通うことになった。 ❖ ホルモン剤の副作用の手のこわばり、手指の関節の痛み、ホットフラッシュ。 ❖ ホルモン療法中の気分の揺れやうつ。
10	抗がん剤による外見の変化（爪が黒くなる、皮膚症状）
	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 爪が割れる。 ❖ 抗がん剤治療による副作用。頭と手に湿疹が出て心身ともつらかった。 ❖ 巻爪や表面がザラザラした爪、生えてこない爪もある。 ❖ 抗がん剤治療の副作用で脱毛、皮膚症状など外観的なことに対する不安が強く、仕事をどうしようか、友人にもあまり会いたくないなどと思った。 ❖ 抗がん剤の副作用で、治療中は顔、手、足が赤く腫れ痛み、皮膚が剥がれ、爪、手、足のしびれがあった。